

提出年月日 6. 11. 12

受理年月日 6. 11. 12

陳情第17

高齢者の加齢性難聴者に対する補聴器購入助成制度の創設を求める陳情

〔陳情趣旨〕

加齢性難聴は50歳くらいから始まり、70歳以上で約半数といわれています。世界的な疫学調査では認知症との関係が指摘されています。

しかし、補聴器は片耳でも数十万円かかり、耐用年数も5年とされています。買い替えも必要うえに、充電式でなければ電池代もかなりかかります。

石岡市においても高齢化がすすみ難聴者が増えるなかで、65歳以上の高齢者の加齢性難聴者に対する補聴器購入助成制度を創設するよう陳情します。

【委員長報告要旨】

委員からは、「現在当市においては、障害手帳をお持ちの方への対処をされているということであるが、制度の拡充をすればゼロベースでの創設ではないし、この趣旨に十分対応できるのではないか」との意見や、「こういった障害が起きてくるのは、加齢とともに目に見えているわけであるので、こういう優しい助成制度は必要なのかなと思う。引き続き助成制度を拡充していただければと思う」といった意見が出されました。

【結果】

採択